

# たつのの施設 V 奪還

## 西はりまりハビリテーションセンター

### 県障害者スポーツ・団体総合

神戸市で4月末に開かれた第13回県障害者のじぎくスポーツ大会の車いす使用者の部で、障害者支援施設「西はりまりハビリテーションセンター」（たつの市菅田町福田）が19度目の団体総合優勝を果たした。2

同大会はかつて身体的、精神障害とそれぞれ個別に開いていたが、07年に統合。今年も陸上や水泳など10競技に計約2千人が参加する。車いす使用者の部は県内32団体約130人が出場。陸上とフライングデイスクの2競技13種目で争われ、障害の部位や年齢などの各区分で表彰された。同センターからは26人が参加し、計37個のメダルを獲得。金は21個と昨年より5個増やし、初出場選手が10個を持ち帰った。利用者と職員が「V奪還」を合言葉に大会前の1カ月間、強化練習に臨み、19度目の総合優勝をたぐり寄せた。祝勝会には選手やセンターの職員ら約60人が集まった。初出場にして陸上50メートルとスラロームの二つのメダルを獲得した田村淳二さん(45)は「利用者の代表と

## 昨年の雪辱、練習重ね19度目

017年で18連覇となったが、昨年は優勝を逃した。雪辱を期して臨んだ今大会は初出場選手が躍進の原動力になった。このほど同センターであった祝勝会では皆でくす玉を割って喜びをかみしめた。（松本茂祥）



くす玉を割って19度目の総合優勝を喜ぶ選手ら  
|| たつの市菅田町福田

して出られたのは誇り。2に競技に取り組む姿を見せる人の子どもの前で一生懸命 られて良かった」と話した。